

平成 29 年度事業計画（案）

福祉人材の掘り起こしから育成、職場定着までを総合的に支援するための取組について、東京都福祉人材センターと連携しながら実施していく。

1 福祉人材対策の検討

(1) 運営協議会の開催

第 2 回 5 月 1 7 日開催

(2) 専門部会の開催

ア 普及啓発（3 回程度開催）

都が実施する「福祉の仕事イメージアップキャンペーン事業」等を効果的に実施するための企画等を検討する。

イ 人材確保（2 回程度開催）

多様な働き方ができるモデル的な職場の取組を普及させるための手法等を検討する。

ウ 新システム（2 回程度開催）

都が新たに構築するシステム（学生や就業していない方、高齢者等それぞれのライフステージに応じた効果的な情報発信を行うシステム：平成 29 年度稼働予定）の運用方法を検討する。

エ 施策推進（2 回程度開催）【新規】

東京都における東京都福祉人材対策推進機構や東京都福祉人材センターの取組内容の効果検証を行う。

(3) 事業部会

多様な働き方ができるモデル的な福祉職場の取組等に関して、区市町村や事業者と情報共有等を行う。

2 福祉人材対策の具体的取組

都における他の福祉人材対策や参画団体の取組と連携しながら、以下の事業を行う。

(1) 福祉人材に関する情報の発信【新規】

福祉職場への就業意識の向上や地域活動への参画の促進に向け、情報発信する。

都が新たに構築するシステム（福祉職場に興味のある資格のない方や転職希望のある方、高齢者等それぞれのライフステージに応じた効果的な情報発信を行う）を運用する。

(2) 福祉人材の掘り起こし

福祉業界になじみのない方に対して、福祉職場に就業する意欲を持ってもらえるような取組を実施する。

ア 助成金付インターンシップ

一般大学の学生等の福祉職場への就業意識を向上させるため、大学のキャリアセンターと連携し、助成金付インターンシップを実施する。

イ 専門員による人材の開拓

専門員を配置し、区市町村、大学及び就労支援機関等と連携し、福祉の魅力、やりがいをきめ細かく発信する。

ウ 小学生向け地域における体験イベント【新規】

将来の福祉職場への就労のきっかけづくりとなるよう、小学生を対象に、地域の福祉職場を体験できるイベントを実施する。

(3) 福祉人材の育成

高齢者、主婦等の多様な働き方を支援する取組を実施する。

ア 福祉職場サポート業務研修

施設等での補助的業務（清掃、配膳、話し相手、見守り等）に関する就業体験を実施する。

イ 福祉職場入門研修

福祉職場で働く際に必要な基本的知識等を身につける研修を実施する。

(4) 福祉人材の定着

事業者の職場環境整備を支援する取組を実施する。

ア 働きやすい職場づくりの支援

事業者支援コーディネーターを配置し、事業者訪問等により、働きやすい職場環境づくりを支援する。

イ 福祉職場における多様な働き方のモデルの普及

多様な働き方ができるモデル的な福祉職場の取組を事例集やセミナー等により普及させる。